

読書ボランティア紹介

福島市立図書館 図書ボランティアの会

子ども読書推進のために

福島市立図書館図書ボランティアの会
(福島市)

平成30年7月19日(木)訪問

登録人数

約52名(H30.7月現在)

創設年月

昭和58年

活動場所

福島市立図書館

活動内容

読み聞かせ、手でさわる絵本の作成
本の修理、対面朗読



「おひざにだっこのおはなしかい」は、平成4年から福島市立図書館において、月1回、第3木曜日に開催しています。このおはなし会は、福島市立図書館司書2名と図書ボランティア会員1名の3人で開催しています。事前に打ち合わせを行い、選書やプログラム作成などを行っています。訪問当日に担当していた森藤氏は、この図書ボランティア会を立ち上げた当初から活動を続けている会員の1人です。

活動の実際

訪問当日は、0歳から3歳までの子どもとその保護者を対象とした読み聞かせでした。

この日は猛暑だったので、参加者が減ってしまうことを心配していましたが、開催時間になると16人の親子が集まりました。

開始前には落ち着かない様子だった子どもも、読み聞かせが始まると、紙芝居の絵をじっと見ながら、集中してお話を聞いていました。紙芝居の内容が日常のあいさつを題材にしたものだったので、ボランティアの方は、場面に合わせたあいさつを問いかけていました。それに対し、「いってらっしゃい」「お帰りなさい」と大きな声で応えていました。また、わらべうたや工作では、お母さんとのふれ合いを大切にするプログラムで、お母さんの膝に乗って、嬉しそうにしている子どもたちの姿が印象的でした。

【当日の内容】

1. 紙芝居「なんていうのかな」(童心社)
2. わらべうた「うまはとしとし」
3. 大型絵本「ありとすいか」(ポプラ社)
4. 絵本「おさかないっぱい」(福音館書店)
5. 工作「クラゲを作ろう」

